

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年2月7日 (2008.2.7)

【公開番号】特開2002-79651(P2002-79651A)
 【公開日】平成14年3月19日 (2002.3.19)
 【出願番号】特願2001-197683(P2001-197683)
 【国際特許分類】

B 4 1 F 31/15 (2006.01)

B 4 1 F 35/04 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 31/14 B

B 4 1 F 35/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月13日 (2007.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】輪転印刷機のインキ供給装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 周方向に回転できるとともに軸心方向に沿って往復移動可能な振りローラと、前記振りローラの振り幅を調整する振り幅調整機構と、前記振り幅調整機構を作動させる振り幅調整用手段と、前記振りローラの振り幅が指定された値となるように前記振り幅調整用手段の作動を制御するとともに、洗浄作業時に前記振りローラが予め設定された振り幅となるように前記振り幅調整用手段を制御する制御手段とを備えたことを特徴とする輪転印刷機のインキ供給装置。

【請求項 2】 前記振りローラを往復移動させる振り機構と、前記振り機構を作動させる振り機構駆動用手段を備え、前記制御手段は、前記振り機構駆動用手段で前記振りローラを回転するように制御することを特徴とする請求項 1 記載の輪転印刷機のインキ供給装置。

【請求項 3】 周方向に回転できるとともに軸心方向に沿って往復移動可能な振りローラと、前記振りローラを往復移動させる振り機構と、前記振り機構を作動させる振り機構駆動用手段と、版胴の回転数に対する前記振りローラの振り回数が指定された値となるように、当該版胴の回転数に基づいて、前記振り機構駆動用手段の作動を制御するとともに、洗浄作業時に前記振りローラが予め定められた振り回数となるように前記振り機構駆動用手段を制御する制御手段を備えたことを特徴とする輪転印刷機のインキ供給装置。

【請求項 4】 前記制御手段は、前記振り機構駆動用手段で前記振りローラを回転するように制御することを特徴とする請求項 3 記載の輪転印刷機のインキ供給装置。

【請求項 5】 周方向に回転できるとともに軸心方向に移動不能に支持された練りローラを備え、前記制御手段は、前記振り機構駆動用手段で前記練りローラを回転するように制御することを特徴とする請求項 2 又は 4 記載の輪転印刷機のインキ供給装置。

【請求項 6】 周方向に回転できるとともに軸心方向に移動不能に支持された練りロ

ーラを備え、前記練りローラ及び前記振りローラを洗浄する洗浄装置と、洗浄開始時に前記振りローラの幅または振り回数を大きくなるように設定する設定手段と、前記設定手段により設定される以前の振り幅または振り回数の設定値を記憶するメモリと、洗浄終了時に前記メモリから前記設定値を読み出して、洗浄以前の振り幅又は振り回数に復帰させることを特徴とする請求項 1 , 2 , 3 又は 4 記載の輪転印刷機のインキ供給装置。

【請求項 7】 前記設定手段は、前記振りローラの振り幅または振り回数を最大に設定することを特徴とする請求項 6 記載の輪転印刷機のインキ供給装置。

【請求項 8】 前記制御手段は、洗浄作業時に前記振り機構駆動用手段を早く回すように制御することを特徴とする請求項 3 の輪転印刷機のインキ供給装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、輪転印刷機のインキ供給装置に関する。例えば、インキ供給装置を洗浄する時に、振りローラの設定を自動的に制御する機構に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そのため、インカーのローラ群の洗浄は必ずしも効率的とは言えなかった。尚、通常印刷では振り回数が一定の為、洗浄時に、振り回数を変更するのは困難であった。

本発明は、上記従来技術に鑑みてなされたものであり、インカーのローラ群洗浄時に、振りローラ動作設定を自動的に変更し、洗浄終了後に自動復帰することのできる輪転印刷機のインキ供給装置を提供することを目的とする。

更に、本発明の他の目的は、短時間でインキユニットの洗浄を完了することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

斯かる目的を達成する本発明の請求項 1 に係る輪転印刷機のインキ供給装置は、周方向に回転できるとともに軸心方向に沿って往復移動可能な振りローラと、前記振りローラの振り幅を調整する振り幅調整機構と、前記振り幅調整機構を作動させる振り幅調整用手段と、前記振りローラの振り幅が指定された値となるように前記振り幅調整用手段の作動を制御するとともに、洗浄作業時に前記振りローラが予め設定された振り幅となるように前記振り幅調整用手段を制御する制御手段とを備えたことを特徴とする。

上記目的を達成する本発明の請求項 2 に係る輪転印刷機のインキ供給装置は、請求項 1 において、前記振りローラを往復移動させる振り機構と、前記振り機構を作動させる振り機構駆動用手段を備え、前記制御手段は、前記振り機構駆動用手段で前記振りローラを回転するように制御することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成する本発明の請求項3に係る輪転印刷機のインキ供給装置は、周方向に回転できるとともに軸心方向に沿って往復移動可能な振りローラと、前記振りローラを往復移動させる振り機構と、前記振り機構を作動させる振り機構駆動用手段と、版胴の回転数に対する前記振りローラの振り回数が指定された値となるように、当該版胴の回転数に基づいて、前記振り機構駆動用手段の作動を制御するとともに、洗浄作業時に前記振りローラが予め定められた振り回数となるように前記振り機構駆動用手段を制御する制御手段を備えたことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成する本発明の請求項4に係る輪転印刷機のインキ供給装置は、請求項3において、前記制御手段は、前記振り機構駆動用手段で前記振りローラを回転するように制御することを特徴とする。

上記目的を達成する本発明の請求項5に係る輪転印刷機のインキ供給装置は、請求項2又は4において、周方向に回転できるとともに軸心方向に移動不能に支持された練りローラを備え、前記制御手段は、前記振り機構駆動用手段で前記練りローラを回転するように制御することを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成する本発明の請求項6に係る輪転印刷機のインキ供給装置は、請求項1、2、3又は4において、周方向に回転できるとともに軸心方向に移動不能に支持された練りローラを備え、前記練りローラ及び前記振りローラを洗浄する洗浄装置と、洗浄開始時に前記振りローラの幅または振り回数を大きくなるように設定する設定手段と、前記設定手段により設定される以前の振り幅または振り回数の設定値を記憶するメモリと、洗浄終了時に前記メモリから前記設定値を読み出して、洗浄以前の振り幅又は振り回数に復帰させることを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記目的を達成する本発明の請求項7に係る輪転印刷機のインキ供給装置は、請求項6において、前記設定手段は、前記振りローラの振り幅または振り回数を最大に設定することを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

上記目的を達成する本発明の請求項8に係る輪転印刷機のインキ供給装置は、請求項3における前記制御手段が、洗浄作業時に前記振り機構駆動用手段を早く回すように制御することを特徴とする。